

平成28年3月期 第2四半期決算説明資料

平成27年11月10日



エムケー精工株式会社

証券コード: 5906



平成28年3月期 第2四半期の決算概要

平成28年3月期 第2四半期の総括

■業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により景気は緩やかな回復基調にあります。円安に伴う物価上昇や欧州の不安定な情勢に加え、中国をはじめとする新興国経済の減速が懸念されるなど、世界経済全体の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では設備投資は堅調に推移したものの、情報機器及び生活機器の分野では価格競争は一段と激しさを増しており、依然として厳しい状況下にあります。

こうした状況にあって当社グループは、在庫削減、合理化及びVA(価値分析)の徹底により更なる生産性の向上やコスト削減に取り組むとともに、人的リソースの最適化を喫緊の課題として人材育成の強化、労働環境の改善などの施策を講じてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億1千8百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は4億7千5百万円(前年同期比7.1%減)、経常利益は4億6千7百万円(前年同期比8.5%減)、四半期純利益は2億9千7百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

平成28年3月期 第2四半期の業績

<連結業績>

単位:百万円

	27年9月期	26年9月期	対前期比
売上高	9,718	9,293	104.6%
営業利益	475	512	92.9%
経常利益	467	510	91.5%
四半期純利益	297	264	112.4%

平成28年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位:千円

	27年9月期	26年9月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	12,286,266	11,746,082	540,183
現金及び預金	1,953,153	1,706,555	246,598
受取手形及び売掛金	4,718,844	4,523,056	195,788
たな卸資産	5,335,578	5,212,189	123,389
その他の流動資産	278,689	304,281	△25,592
固定資産	9,532,890	9,334,190	198,700
有形固定資産	6,011,671	6,123,722	△112,051
無形固定資産	1,286,523	1,402,826	△116,303
投資その他の資産	2,234,696	1,807,641	427,055
繰延資産	1,492	2,487	△994
資産合計	21,820,649	21,082,760	737,888

平成28年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	27年9月期	26年9月期	増減額
(負債の部)			
流動負債	8,385,378	9,486,515	△1,101,136
支払手形及び買掛金	1,355,837	1,381,689	△25,852
短期借入金	2,200,000	2,440,000	△240,000
1年内返済予定の長期借入金	824,018	1,877,490	△1,053,472
未払金	3,145,879	2,897,611	248,267
その他の流動負債	859,644	889,724	△30,080
固定負債	3,559,603	2,716,001	843,601
社債	100,000	100,000	—
長期借入金	2,922,820	2,102,188	820,632
その他の固定負債	536,783	513,813	22,969
負債合計	11,944,982	12,202,516	△257,534

平成28年3月期 第2四半期連結貸借対照表

単位：千円

	27年9月期	26年9月期	増減額
(純資産の部)			
株主資本	9,232,590	8,773,700	458,890
資本金	3,373,552	3,373,552	—
資本剰余金	2,951,143	2,951,143	—
利益剰余金	3,418,319	2,959,406	458,912
自己株式	△510,424	△510,402	△22
その他の包括利益累計額	643,076	106,543	536,533
その他有価証券評価差額金	280,279	185,752	94,526
繰延ヘッジ損益	△505	12,454	△12,960
為替換算調整勘定	188,155	△91,664	279,819
退職給付に係る調整累計額	175,146	—	175,146
純資産合計	9,875,667	8,880,243	995,423
負債純資産合計	21,820,649	21,082,760	737,888



平成28年3月期 第2四半期連結損益計算書

単位：千円

	27年9月期	26年9月期	増減額
売上高	9,718,462	9,293,662	424,800
売上原価	6,598,113	6,157,057	441,055
売上総利益	3,120,349	3,136,604	△16,254
販売費及び一般管理費	2,644,412	2,624,374	20,037
営業利益	475,937	512,229	△36,291
営業外収益	50,950	53,704	△2,754
営業外費用	59,809	55,739	4,069
経常利益	467,079	510,195	△43,116
特別利益	9,042	8,167	875
特別損失	2,687	2,696	△9
税金等調整前四半期純利益	473,434	515,666	△42,231
法人税等及び法人税等調整額	175,681	250,824	△75,142
四半期純利益	297,752	264,841	32,910

平成28年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

	27年3月期	26年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△140,699	△254,472	113,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331,137	△141,438	△189,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	434,725	406,103	28,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,589	△9,892	16,482
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△30,522	298	△30,820
現金及び現金同等物の期首残高	675,090	647,956	27,133
非連結子会社との合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	5,862	—	5,862
現金及び現金同等物の期末残高	650,431	648,255	2,175

平成28年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

＜平成27年3月21日から平成27年9月20日まで＞

単位：千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成27年3月21日残高	3,373,552	2,951,143	3,164,612	△510,402	8,978,905
会計方針の変更による累積的影響額			71,964		71,964
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,373,552	2,951,143	3,236,576	△510,402	9,050,870
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当			△116,010		△116,010
四半期純利益			297,752		297,752
自己株式の取得				△22	△22
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)					
当連結会計年度変動額合計	-	-	181,742	△22	181,720
平成27年9月20日残高	3,373,552	2,951,143	3,418,319	△510,424	9,232,590

平成28年3月期 第2四半期連結株主資本等変動計算書

単位：千円

	その他の包括利益累計額					純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額 合計	
平成27年3月21日残高	327,459	28,719	154,202	120,673	631,055	9,609,961
会計方針の変更による累積的 影響額						71,964
会計方針の変更を反映した 当期首残高	327,459	28,719	154,202	120,673	631,055	9,681,926
当連結会計年度変動額						
剰余金の配当						△116,010
四半期純利益						297,752
自己株式の取得						△22
株主資本以外の項目の当連結 会計年度変動額（純額）	△47,179	△29,224	33,952	54,473	12,021	12,021
当連結会計年度変動額合計	△47,179	△29,224	33,952	54,473	12,021	193,741
平成27年9月20日残高	280,279	△505	188,155	175,146	643,076	9,875,667

セグメント別分析

■ オート機器事業

主要製品の門型洗車機は、政府補助金効果によりSS業界の需要が膨らみ販売台数が伸長し、カーディーラー及び整備工場においても堅調に推移しました。また、オイル関連製品では、エアコンプレッシャーが需要の一段落を受けて伸び悩んだものの、灯油配送ローリーが順調に推移し、売上高は前年同期比9.3%増の66億7千6百万円となりました。



門型洗車機

■ 情報機器事業

一般店舗向け小型表示機は、積極的な販路拡大に努めました結果増加傾向に転じましたが、官需関連の道路情報板は、大型物件受注面での苦戦による影響が大きく、売上高は前年同期比20.6%減の7億7千6百万円となりました。



一般店舗向け小型表示機

セグメント別分析

生活機器事業

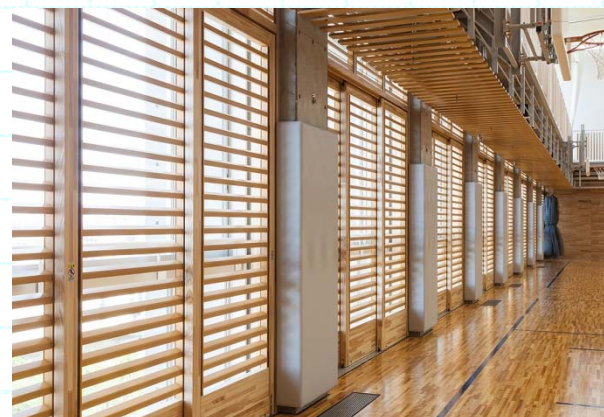
農家向け商材は夏場の天候不順による影響もありましたが、主力の農産物低温貯蔵庫のモデルチェンジや保冷精米機などの新製品投入効果により売上が伸長しました。他方、調理家電を含めた一般家庭向け商材は、消費者の低価格・節約志向が根強く残る中、一部製品の値上げの影響もあり厳しい状況が続き、売上高は前年同期比0.7%減の15億9千6百万円となりました。



農産物低温貯蔵庫

住設機器事業

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等の製造・販売を行っております。主要取引先である建設業界は、依然として公共工事の入札不調・不落が続き着工延期が発生しておりますが、体育館向けの木・アルミ複合防球格子建具が好調に推移し、売上高は前年同期比8.9%増の5億5千6百万円となりました。



木・アルミ複合防球格子建具
「ボールガード」の施工例

セグメント別分析

■ その他の事業

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いておりますが、ビジネス客の利用が順調に推移したほか、北陸新幹線開通と善光寺御開帳の相乗効果により、売上高は前年同期比29.6%増の1億1千2百万円となりました。



長野リンデンプラザホテル

平成28年3月期 業績・配当予想

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成28年3月期の業績予想

<連結業績>

単位：百万円

	28年3月期(予想)	27年3月期(実績)	対前期比
売上高	19,000	19,346	98.2%
営業利益	550	823	66.8%
経常利益	500	792	63.1%
当期純利益	310	470	66.0%

平成28年3月期の配当予想

当社グループは、株主各位への利益還元を重要な政策と位置づけ、今後の事業展開を念頭に財務体質の強化のための内部留保とのバランスを考慮した利益配分を基本方針としております。

平成28年3月期における1株当たりの年間配当予想は以下のとおりです。

<1株当たり年間配当金>

	1株当たり期末配当金
平成28年3月期(予想)	8円00銭
平成27年3月期(実績)	8円00銭

參考資料

当社の経営方針

■ 今後の経営方針

当社グループは、企業理念「求・消・営」のもと、お客様（消費者）をすべての中心に据え、お客様に求められる製品とサービスを提供するための営業に努めてまいりました。また、開発から製造・販売までの一貫体制による「自社考案・自社販売」を基本方針として、研究開発型企業を志向しております。

なお、当社グループを取り巻く環境は時々刻々と変化しており、また、これに伴い顧客ニーズやビジネスモデルが益々多様化しております。こうした変化や多様化に敏感かつ柔軟に適応すべく、モノづくりとサービス提供との高度な融合にチャレンジし続けてまいります。

中長期的な経営戦略

■ 中長期的な経営戦略

今後の経済見通しは、引き続き国内景気の回復が期待されるものの、内外を問わず経済環境は刻々と変化し、今後も不透明な状況が続くものと予想されます。

このため、当社グループは、経済環境に過度に左右されることのない、本質的に健康な企業へと体質改善を図るため、以下の課題に取り組んでまいります。

① 人的リソースの再構築

グループ全体としての人的リソースの最適化が急務と考えており、このため、人材育成の強化、労働環境の改善、及び人事評価制度の整備を図ります。

② 生産性の向上

製品の開発から製造まで、収益性を指標として更なる選択と集中を進め、また工場の設備、レイアウトなど、投資効果と事業継続の観点から最適化を図ります。

③ 高品質なモノ+サービスの追求

商品の品質はもちろん、それに付帯するサービスの品質を高めるため、営業及びメンテナンス部門の業務を、接客のあり方から見直し改善を図ります。

中長期的な経営戦略

④コスト削減

在庫削減、合理化及びVA(価値分析)を徹底するとともに、間接コストに関する全体最適化を図ります。

⑤財務基盤の強化

為替変動、金利上昇などの外部環境変化や各事業の進捗に基づき、キャッシュ・フロー及び資金調達の最適化を図ります。

研究開発活動

個人消費は依然として楽観視ができない状況が続いており、また、円安によるエネルギー及び原材料費の変動がある反面、市場では厳しい価格競争が続いています。このような社会状況の中で、市場の変化、技術の変化を感度良く取り入れ、環境問題に配慮した研究開発の実践が求められています。当期も引き続き「フュージョン・テクノロジーで未来へ」を合い言葉に、「メカトロニクス技術」と「情報通信・処理技術」をコアテクノロジーとした高付加価値商品の研究開発を基本方針として、研究開発活動を次のとおり進めてまいりました。

■ オート機器事業

門型洗車機では、車形センサ搭載型上位機種である「レミルトダブルエックス」のモデルチェンジを行いました。また、ドライブスルー機用受付ユニットは、液晶タッチパネル搭載機種とボタン式機種の2機種についてモデルチェンジを行いました。

自動車整備機器では、CVT・ATチェンジャー用上抜きキットのラインナップとゲージレス車用下抜き機種の開発を行いました。また、水式スプレー洗車機のモデルチェンジを行いました。

SS向け電光価格看板では、超高輝度LED3油種価格表示板の新シリーズ開発を行い、3色表示機種と白色表示機種の2機種をラインナップしました。

研究開発活動

■ 情報機器事業

公官需向けでは、前期に引き続き交通情報提供機器及び関連機器の開発を行いました。また、地下道の冠水警報表示システム、海岸部の高潮警報表示システム、消防署の緊急出動表示システム等の開発を行いました。

民需向けでは、前期に開発した表示機を色覚弱者に優しい機器としてカラーユニバーサルデザインに適合させ、CUDO認証を取得しました。工事関連、道路維持管理向け表示機では、車載式表示機やソーラー式表示機システム等、市場からの要求に応える表示機の開発を進めています。さらに、新規製品として前期に開発した非常用電源装置について、性能改善のための改良を行っています。

■ 生活機器事業

農家向け商材では、低温貯蔵庫のフルモデルチェンジを行い、家庭用冷蔵庫と同様の光沢のある化粧鋼板、バックライト付き大型液晶表示操作部、新機能の「雪蔵(ゆきぐら)」コースの採用等で商品力の向上を図りました。また、大型の玄米専用機種を新たに開発し、従来の大型タイプに対し購入しやすい価格を実現しました。さらに、白米及び玄米を低温保存できる保冷米びつと精米機を複合した新商品「保冷精米機」の開発を行いました。

収納商材では、狭スペースの有効利用が可能なスリムワゴンと、キッチンやリビングで活用できるインテリアワゴンの2新製品を開発しました。また、レンジ台については、来年度に向けたモデルチェンジ機種の開発を進めております。

研究開発活動

■ 住設機器事業

木・アルミ複合断熱熱窓シリーズでは、学校向けの引違窓をシンプルかつスリムにしてコストダウンを図りました。来期の納入を控え、ネーミングを「G-マード」に決定しました。多重引きが得意な大型引違窓の「ワイドネスウィンドウ」と合わせることで、積極的な提案が可能となりました。引き続き、欄間付き仕様の開発を進めています。

消音ルーバーシリーズでは、反射した騒音の周波数で騒音を打ち消すアクティブ消音の理論を取り入れ、さらなる市場開拓を目指していきます。今期はプロトタイプサンプルでの消音試験を実施しており、商品化の準備を進めています。

新製品情報

■ オート機器

【 門型洗車機 「ジーフォーⅡ XF-902」 】

フルサービスSS向けのフラッグシップモデルです。従来モデルで評価が高かったローションタイプの水アカ取システム「プロッシュ」、パウダーコーティング「クリスタルコートNEO」のオプション搭載は継承し、今回洗車機唯一のガラス系コーティング「ティアラコートプレミアム」のオプション搭載を可能にしました。

劣化被膜を強力に除去するプロッシュと多彩なコーティングとの組み合わせで、バリエーション豊かな高付加価値洗車メニューの展開が図れます。



新製品情報

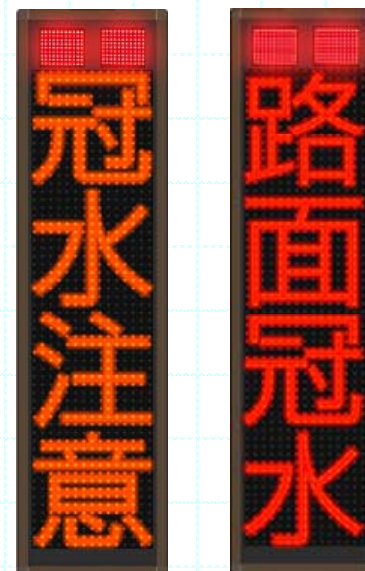
■ 情報機器

【簡易型冠水警告表示システム】

官公需向けの危険予知商品として、簡易型冠水警告表示システムを開発しました。

複雑で高価な従来の冠水システムと比べ、コンパクトな設計とシステムを最適化することにより、低価格な簡易システムとなります。

T字路や十字路、狭いアンダーパスにも採用でき、太陽光パネルとバッテリーを装備することにより、停電時でも注意喚起ができる仕様となっています。



新製品情報

■ 生活機器

【保冷精米機】

お米をおいしく食べるには、玄米を冷やして保存し、炊く前に精米するのが理想的。理想を実現した1台「保冷精米機」2機種6アイテムを発売しました。

保冷保存した玄米を1合・2合の2レバー引き出しで簡単計量。玄米の量・精米度を選んでスタートキーを押すだけで、手軽に家庭でお米本来の香りと旨みが味わえます。精米方法は冷たくても割れにくいお米にやさしい対流式、シンプルな構造でお手入れも簡単です。



株主優待制度のご案内

株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンデンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

発行基準

宿泊優待券は、毎年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株数	ご優待券
1,000株 ~ 1,999株	2枚
2,000株 ~ 3,999株	3枚
4,000株 ~ 9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

発行日

定時株主総会后、決議通知に同封いたします。

有効期限

発行年の翌年6月30日



長野リンデンプラザホテル



本資料に関するお問い合わせ

エムケー精工株式会社

管理本部

TEL : 026-272-0601

E-mail : soumu@mkseiko.co.jp